

地歴科地理A学習指導案

実施日 平成18年12月14日(木) 第5校時
 実施学級 普通科1年5・6組(地理選択者)
 男子20名 女子20名 計40名
 教材 地理A(東京書籍)
 場所 視聴覚室
 指導者 教諭 新村耕一

1 単元名 第2編 世界の生活・文化と現代世界の課題(第4章 さまざまな地球的課題)

2 単元について

本単元では、人口問題・食料問題・資源・エネルギー問題・都市問題・環境問題について、地球的及び地域的視野から追究し、地球的課題は地域を超えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決に当たっては各国の取組とともに国際協力が必要であることについて考察させることを主なねらいとしている。人口問題に関しては、発展途上国と先進国における問題点を重点的に扱い、人口ピラミッドの変化、日本の今後の将来像(少子高齢社会の進展、社会保障制度のあり方等)について考察させる。

3 単元の目標

- (1) 人口・食料・資源・エネルギー・都市・環境問題(各主題)に対する関心と課題意識を高めさせ、各主題の地域的な特徴をとらえさせる。(関心・意欲・態度)
- (2) 各主題において、他国に比べて日本がどのような問題点を持っているかという視点をもとに、日本の将来や今後の動向について考えさせる。(思考・判断)
- (3) ITを活用して生徒に主題図を作成させ、その主題図と教科書の資料と比較させることによって、共通点や相違点を理解させる。(資料活用の技能・表現)
- (4) 各主題に関する基礎的な学習内容(地理用語)について、グラフ・図表・写真を用いて特にわかりやすく説明し、学力の向上を図る。(知識・理解)

4 単元の指導計画と評価の観点(全8時間)

単元名	主題名	時間	主な学習内容	関心 意欲 態度	思考 判断	技能 表現	知識 理解
第Ⅱ編 世界の生活・文化 と現代世界 の課題 第4章 さまざまな地球的 課題	世界の人口問題	1	世界の人口分布、世界の人口の変化、自然増加率について 各国の人口ピラミッドの作成 (様々な国の人口ピラミッドを作成する。生徒をA～Hの8班に分け、それぞれ班毎に人口ピラミッドを作成させ、どこの国の人口ピラミッドであるかを考える) 発展途上国の人口問題(人口爆発、大都市への人口移動)(1時間目)	○		◎	
		1 (本時)	先進国の人口問題(高齢社会に関わる諸問題)について(2時間目)		◎		○
	世界の食料問題	1	飽食の地域と食糧不足の地域、緑の革命、三大穀物と食料に関する貿易について(3時間目)	◎			○

単元名	主題名	時間	主な学習内容	関心意欲 態度	思考 判断	技能 表現	知識 理解
	世界の資源・エネルギー問題	1	エネルギー消費の地域別割合、化石燃料（石油・石炭・天然ガスの特徴）、国際石油資本、OPECについて（4時間目）	○		◎	
		1	エネルギー資源の可採年数、代替エネルギー、原子力発電、様々な自然エネルギー・新しいエネルギー（5時間目）		○		◎
	世界の都市問題	1	世界の都市人口率（先進国・発展途上国）、都市問題（メキシコシティを例に）、インナーシティ問題（スラム）について（6時間目）	○	◎		
	世界の環境問題	1	生態系、地球温暖化、オゾン層の破壊について（7時間目）	○			◎
		1	熱帯林の破壊、リサイクル社会について（環境問題に対する国際的な取組）（8時間目）	◎		○	

5 生徒の実態

1年5・6組の地理A選択者は入学当初の科目選択希望では「日本史A」とした生徒が40名中、24名おり「地理A」は第2希望の生徒が多かった。しかし、与えられた課題など真面目に取り組む生徒が多く、授業に対する集中力も高いので、1年普通科「地理A」選択者の中では、成績上位者が多い。

6 中・高の地理学習の系統性を踏まえた指導改善の視点

本時の主題である「人口問題」に関しては、『中学校学習指導要領解説—社会編—』（3）世界と比べて見た日本 ア 様々な面からとらえた日本（ア）人口から見た日本の地域的特色に位置づけられているように、中学校においても、学習がなされている。中学校での学習内容は、「我が国の地域的特色を人口の面から追究し、理解させることを主なねらいとしている」（解説）とあるように、例えば、少子化・高齢化、過密・過疎といった地域的特色を、日本全体の視野から大きくとらえさせることに重点をおいている。

このような中学校での学習を踏まえて、高等学校では、『高等学校学習指導要領解説—地理歴史編—』第5節 地理A（2）地域性を踏まえてとらえる現代世界の課題 イ 地球的課題の地理的考察（ア）諸地域から見た地球的課題に位置づけられている。この中では、「世界を広く大観する学習と具体例を通して追究する学習とを組み合わせる扱うこと。」（内容の取扱い）とあるように、世界の人口問題を大観するとともに、各地域でその現れ方が異なっていることを理解させ、課題解決に当たっては地域性を踏まえた国際協力が必要であることについて考察させることに重点をおいている。

地理学習の指導に当たっては、このように中学校、高等学校、それぞれの『学習指導要領』の趣旨やねらいを十分に吟味しながら、系統性を踏まえて指導していくことに留意したい。

7 本時の実際（2/8）

(1) 主題 世界の人口問題（先進国の人口問題）

(2) 本時の目標

ア 班別に作成した人口ピラミッドを見て、どの国の人口ピラミッドかを考えさせ、時代や国によって異なる人口のようすについて理解させる。（資料活用の技能・表現）（思考・判断）

イ 人口ピラミッドの変化から先進国が抱える問題点を理解させ、特に日本の社会の将来について考えさせる。（知識・理解）（思考・判断）

ウ 生徒が日本全体の人口動向を理解し、自分自身のあり方（進路希望・職業選択）について考えさせるきっかけとする。（思考・判断）（意欲・関心・態度）

(3) 本時の展開

階	学習活動	学習内容（下線は基礎 基本的な事項）と情報 提供	時間	指導上の留意点
導 入	<p>○出席確認 ○世界のどのような地域において人口が増えているのか、発展途上国の抱える人口問題とは何であったかを思い出す。</p>	<p>医療・保健衛生の改善，食糧不足，大都市への人口移動（スラムの形成） 人口ピラミッド（生徒が作成したもの）</p>	10分	<p>○生徒が作成した人口ピラミッドを用いて，前時の復習を行う。本時で扱う人口ピラミッドを列挙し，本時の学習内容（先進国の人口問題）について大まかに説明する。</p>
展 開	<p>○Aグループの人口ピラミッドがナイジェリア(2000年)であったことふまえ，B，Cグループはどの国であったかについて考え，発表する。 ○Dグループの人口ピラミッドはどの国（正解；日本）であるかを考え，発表する。 ○E～Hの人口ピラミッドを見て，それぞれどの国に当てはまるかを発表する。（E;アメリカ F;ブラジル G;イギリス H;インド） ○まとめをノートに書く。 ○先進国の人口問題を教科書P.134 [3] [4]を見て高齢者の割合の急増，社会保障全体への影響について考える。高齢社会ではどのような政策が必要であるかを考える。 ○まとめをノートに書く。</p>	<p>生徒の作成した人口ピラミッド（Bグループ；タイ Cグループ；韓国） 生徒の作成した人口ピラミッド（D；日本）教科書P.134 [3] 先進国の一人の女性が生涯に生む子供の平均数の推移[4] 先進国の老年人口比率の推移 生徒の作成した人口ピラミッド（E;アメリカ F;ブラジル G;イギリス H;インド） <u>高齢社会（老年人口率が14%以上）</u>，<u>合計特殊出生率</u> 新聞記事（東京新聞平成18年1月10日） （出生率が伸びた先進国） スウェーデン，ノルウェー，オランダ，シガポール</p>	30分	<p>○近年著しい経済成長を遂げているタイや韓国について簡潔に触れ，人口ピラミッドの変化の説明に生かすようにする。 ○先進国の抱える人口問題をグラフ（P.134 [3]，[4]）をもとに概略的に述べる。 ○生徒に人口ピラミッドの国名を考えさせる部分では，教科書をじっくり見させる。 ○E～Hの人口ピラミッドを大まかに先進国と発展途上国に分け，それぞれの人口ピラミッドの違いについて強調する。 ○説明した国の位置を白地図で簡単に触れる。 ○先進国で人口増加に転じた国について触れ，具体的にどのような政策を採れば出生率が伸びるのかを考えさせる。</p>
ま と め	<p>○本時の学習内容を人口ピラミッドの変化から復習する。 ○まとめをノートに書く。 ○職業選択を通して，生徒自身の生き方について考えさせる。</p>	<p>教科書P.133 [4] 生徒が作成した人口ピラミッドを<u>富士山型・釣り鐘型・つぼ型に分類（人口革命）</u> 鹿児島市（平成17年度）の人口ピラミッド・将来（2030年）の日本の人口ピラミッド 教科書P.135[5]訪問看護，[6]高齢者への介護サービス</p>	10分	<p>○自分たちの住む地域の人口ピラミッドはどのようなになっているか興味・関心を持たせる。 ○先進国の人口問題を理解させた上で，職業選択の意義や将来に向けて前向きな姿勢（自分自身が貴重な労働力として存在であること）を考えさせる。</p>

(4) 評価

- ア 教科書の資料P. 133を活用して作成した人口ピラミッドの国名を的確に予測することができたか。 (思考・判断) (資料活用の技能・表現)
- イ 国レベルの人口ピラミッドの変化を理解し、将来日本がどのような社会へ変容していくかを考えることができたか。 (知識・理解) (思考・判断)
- ウ 人口問題全体を通して、今後の少子高齢社会の中で、将来の進路選択や職業選択について前向きに考えるようになったか。 (意欲・関心・態度)